

\*\*\*\*\*

溶接学会便り No. 38

2022 年 10 月 14 日

\*\*\*\*\*

〇〇 〇〇様

会員番号 : 0000000

平素より、当学会の活動にご尽力、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。  
さて、「溶接学会便り No. 38」を発刊しましたので、お届け致します。

本メールマガジンは一般社団法人溶接学会の会員で、E-mail アドレスを  
ご登録頂き、会員マイページでメールマガジンを「希望する」とした方  
にお送りしています。

定期発刊は、1 月、4 月、7 月、10 月（各月中旬）の年 4 回です。

---

◆溶接学会の HP はこちらです。

<https://jweld.jp/>

---

【目次】

1. 溶接工学企画講座のご案内(2022. 11. 8 対面開催)
2. 四国支部 第 30 回溶接技術実用講座の参加者募集
3. 新溶接アーク現象セミナー(溶接法研究委員会 ハイブリッド開催)
4. 東北支部 2022 年度 溶接・接合技術基礎セミナーの参加者募集
5. Mate 2023 第 29 回「エレクトロニクスにおけるマイクロ接合・実装技術」  
シンポジウム(Microjoining and Assembly Technology in Electronics)
6. 溶接学会誌、論文集の目次紹介について
7. 溶接学会ホームページのリニューアル
8. Welding International 誌への転載について
9. 【重要】学生員への学会誌送付の廃止→電子版閲覧への移行について
10. 【重要】J-STAGE 電子版における溶接学会誌、全国大会講演概要集の一般へ  
の公開制限について
11. 【重要】会員専用ページ「マイページ」について

---

1. 溶接工学企画講座のご案内

ものづくりのベースとなる研究・開発のレビュー&トレンド  
～「アーク溶接プロセス」～

今回の企画講座では、溶接学会誌に掲載された、溶接・接合工学の重要な要  
素技術分野である「アーク溶接プロセス」に関する 2 件の記事の執筆者が最近  
の研究開発のトレンドを紹介します。

溶接学会誌の記事紙面では書き尽くせなかったことも含めて丁寧に内容を説  
明します。質疑応答もできる時間を設けますのでより深い理解を得ることがで

きます。

開催日

2022年11月8日（火）10：00～16：00（申込締切りは11月1日12：00）

演題・講師

「溶接アーク物理」

田中 学 大阪大学 接合科学研究所 所長・教授

「アーク溶接プロセスのインプロセスモニタリング」

浅井 知 大阪大学 接合科学研究所 特任教授

開催場所

大阪大学 医学・工学研究科 東京ブランチ（東京都中央区）

新型コロナウイルス感染症の拡大状況によっては Teams によるオンライン開催になることがあります。

参加費

会員：25,000円、非会員：40,000円

賛助員として溶接学会に参加している企業（団体）所属の方は会員扱い。

詳細は

<https://member.jweld.jp/lecture/pamphlet.php?k=xLzGpUtUTzdLEDBnks36>

申込は

<https://member.jweld.jp/lecture/entry/index.php?k=xLzGpUtUTzdLEDBnks36>

## 2. 四国支部 第30回溶接技術実用講座の参加者募集

この度、溶接学会四国支部では溶接技術者のための溶接技術実用講座を Webex を用いてオンラインで開催いたします。今回のテーマは、ステンレス鋼の溶接に関して、第一線の講師の方々にご講演頂きます。

溶接・接合に関する様々な情報を幅広く得られる絶好の機会ですので、移動を必要としないオンライン開催ですので、皆様奮ってご参加ください。

日時：2022年11月18日（金）13：30～17：00

開催形式：Webex を用いたオンライン講演会

講演内容：

1. 二相ステンレス鋼溶接金属の微視組織を考慮した水素割れ評価  
三上 欣希 氏（大阪大学接合科学研究所 教授）
2. ステンレス鋼の溶接部性能の確保  
小川 和博 氏（大阪大学 招へい教授）

### 3. 二相ステンレス鋼の溶接について

大泉 真吾 氏（日鉄溶接工業株式会社）

参加費：無料

詳細および申込は <https://jweld.jp/news/6171/>

### 3. 新溶接アーク現象セミナー（溶接法研究委員会 ハイブリッド開催）

安藤弘平、長谷川光雄著による「溶接アーク現象」は、永く溶接を学ぶ学生や研究者のバイブルとなってきました。この名著は1962年に初版、1967年に増補版が発行されて、1976年の第6版で終了しています。

溶接法研究委員会若手・中堅ワーキンググループはこの名著を改訂しようと呼びかけ、5年を要して2021年6月に「新溶接アーク現象」を完成させました。

「新溶接アーク現象」は、アーク溶接現象の正しく明確な知識と、溶接プロセスに対する理解が得られるよう、高速度カメラや最新コンピュータなどを駆使した計測技術、映像、解析技術によるアーク現象の可視化などより多くのデータを踏まえて新たな知見を取り入れてまとめられています。

このセミナーでは、「新溶接アーク現象」をテキストとして用いて、各章の編集担当者を講師とし、溶接・接合に関する研究者・技術者、または新たに溶接研究の道を志す人を対象として、溶接アーク現象をより解りやすく解説し、溶接研究の入口を示します。

開催日 11月28日(月) 9:30~17:50

開催 大阪大学 接合科学研究所荒田記念館(対面) / Microsoft Teams によるオンラインのハイブリッド開催

#### 演題

アーク物理、溶接アークの性質、アーク溶接機器、ティグ溶接、ミグ溶接、マグ溶接、その他のアーク溶接、アーク溶接現象の可視化、アーク溶接現象のシミュレーション、溶接制御

参加費（テキスト「新溶接アーク現象」を含む）

会員：35,000円 非会員：45,000円 学生：25,000円

詳細・申込は <https://jweld.jp/news/6201/>

### 4. 東北支部 2022年度 溶接・接合技術基礎セミナーの参加者募集

本セミナーは溶接管理技術者2級向けテキストを用いて、溶接・接合の初

心者やもう一度学び直したい方などを対象とした基礎講義です。会員に限らずどなた様でも参加いただけますので、初心者向けの社内教育などにご利用下さい。

日時：2022年12月6日（火）9:30～17:20

場所：古川商工会議所／宮城県大崎市

参加費：会員 3,000 円、非会員 6,700 円

テキスト代：3,300 円（お持ちの場合は不要）

詳細および申込は [https://jweld.jp/wp-](https://jweld.jp/wp-content/uploads/2022/08/ea257f9d3f288ec3a0a70f1f88f80ef8.pdf)

[content/uploads/2022/08/ea257f9d3f288ec3a0a70f1f88f80ef8.pdf](https://jweld.jp/wp-content/uploads/2022/08/ea257f9d3f288ec3a0a70f1f88f80ef8.pdf)

## 5. Mate 2023 第 29 回「エレクトロニクスにおけるマイクロ接合・実装技術」シンポジウム (Microjoining and Assembly Technology in Electronics)

日本のエレクトロニクス産業は、高機能化、高信頼化、小型化、低コスト化の技術開発に支えられた電子デバイス・部品を組み込んだ新たな電子システム創成によって、社会の発展を牽引してきました。さらに今後、持続可能な社会を実現していくためには、技術の科学的探求をベースとしつつ、既存の学問領域や設計・生産技術などの領域を越えて、経営・生産システムや価値システムなどの広い範囲を取り込んだオプティマイゼーションとそれに基づくシステムインテグレーションが不可欠になってきています。

本シンポジウムは、エレクトロニクスにおける接合・実装技術をコアとした最新の生産技術に関して、研究者相互の情報交換の場をより広くかつ定期的に持ち、生産の科学と技術の進展を促すことを目的として企画開催します。

開催期間：2023年1月24日（火）～25日（水）

開催場所：パシフィコ横浜 会議センター

※詳細・お申し込みは下記 URL からお願いします。

<https://a-youme.jp/mate2023/index.html>

## 6. 溶接学会ホームページのリニューアル

溶接学会のホームページがリニューアルされました。目的のページに進み易くなりました。是非、下記 URL をクリックして閲覧ください。

<https://jweld.jp/>

## 7. 溶接学会誌、論文集の目次紹介について

本会の機関誌である溶接学会誌と論文集は J-STAGE にてインターネットを通じて閲覧が可能です。（溶接学会誌は会員閲覧認証登録が必要です）編集委員会・企画委員会の決定に基づいてメールマガジンを希望されている方に対して溶接学会誌は新刊がアップロードされる度に、論文集は次の号がアップロードされ始めたタイミングで目次及びその記事・論文の掲載 URL をお知らせするようになりました。

## 8. Welding International 誌への転載について

本会の論文集に掲載された論文は、著者が英文翻訳の意思がある場合、TAYLOR & FRANCISE 社側からの掲載の要請があった論文については TAYLOR & FRANCISE 社が英文翻訳を無料で行い、翻訳英文論文として Welding International 誌に掲載されます。

## 9. 【重要】学生員への学会誌送付の廃止→電子版閲覧への移行について

溶接学会では、ご承知のとおり J-STAGE による学会誌、論文集、全国大会概要集の電子版による公開閲覧を鋭意進めて参りました。

2017 年 4 月から学生員については、溶接学会誌を J-STAGE 電子版にて閲覧できることから学会誌の冊子の送付を廃止させていただきました。（2016 年 12 月 19 日理事会決議）

なお、学会誌を J-STAGE 電子版で閲覧いただくには、個人会員で、かつ「会員閲覧認証登録」の完了が必要となります。

手続きは「マイページ」（溶接学会 HP 右上からログイン）から「会員閲覧認証登録」を申請して下さい。

## 10. 【重要】J-STAGE 電子版における溶接学会誌、全国大会講演概要集の一般への公開制限について

学会会員特典をより明確にするために、J-STAGE 電子版の一般への公開制限期間を溶接学会誌、全国大会講演概要集は 5 年間に設定しております。

上記の公開制限期間中は、個人会員で、かつ会員閲覧認証登録された個人会員のみへの限定公開となります。

個人会員で J-STAGE 電子版における溶接学会誌、全国大会講演概要集を閲覧をご希望の方は、「マイページログイン」（溶接学会 HP 右上のボタン）から「会員閲覧認証登録」を申請して下さい。（通常、申請された翌月中旬か

ら閲覧が可能となります。閲覧可能時に事務局からメールでお知らせいたします。)

## 11. 【重要】会員専用ページ「マイページ」について

溶接学会の個人会員様には、会員サービスの一層の向上を図るため、個人会員様を対象とした会員専用ページ「マイページ」を開設しています。

マイページでは、ご自身の会員情報を管理していただけるとともに、会費納付、技術情報の閲覧登録等各種サービスのご利用が可能となります。

当学会ホームページのトップページ右方のマイページログインボタンからマイページに入り、「マイページ操作マニュアル」にしたがい、操作をお願いいたします。

1. ログイン → 2. 会員情報確認・変更 → 3. パスワード変更 → 4. マイページ内の完了 ボタン(会員情報等変更の有無にかかわらず必ず押してください)

なお、マイページの URL は、<https://member.jweld.jp/mypage/index.php> です。

会員番号とパスワードは、大切に保管してください。

また、E-mail アドレスは、重要な連絡や ID 等として必須となりますので、会員ご本人様が常時ご使用の PC 用 E-mail アドレスをマイページにご登録ください。

(マイページに登録された E-mail アドレスが正しいかご確認ください)

- ◆発信専用アドレスのため、本メールアドレスには、返信できません。
- ◆お問合せは、下記のメールアドレスにお願い申し上げます。
- ◆配信の停止をご希望される場合は、会員専用ページ「マイページ」の会員情報変更でメールマガジンを「希望しない」にマークしてください。

\*\*\*\*\*

一般社団法人溶接学会 事務局

〒101-0025

東京都千代田区神田佐久間町 4 丁目 20 番地

溶接会館 6 階

TEL: 03-5825-4073 FAX: 03-5825-4331

Email: [t-oguma@tg.rim.or.jp](mailto:t-oguma@tg.rim.or.jp)

\*\*\*\*\*